



新入生を迎えて

校長 杉田 正穂

4月7日新入生の入学を祝し、第61回入学式を挙行することができました。1年生155名、2年生176名、3年生162名、全生徒493名、全生徒がそろい新しい年度がスタートしました。入学式の式辞で、明日への希望と大きく花を咲かせる新入生のために、中学校生活での心がけについて、話をしました。一つ目は人としての誇りや希望をもち、素直に、正直に生きてほしいということです。二つ目は主体的に行動してほしいということです。また、悩み事は一人で悩まずに相談してほしいということも添えました。

常に自分を律し、陰ひなたなく素直に、正直に、努力をし、頑張っている人は誰なのか、みんなが見ています。みんなが知っています。だから、どんなときでも、最後まであきらめずに行動できる人になってほしいと思います。また、学園中では学校行事や委員会活動など、生徒が中心となって活動を進めています。その活動を進めていくときに必要なのが主体性です。主体性は学校生活の中心となる授業、すなわち学ぶときにも必要になります。自ら学習する姿勢や自分で考えて判断する主体性をもっていれば、学校生活も楽しくなることと思います。しかし、中学校生活では楽しいことだけでなく、苦しいこと、辛いこともたくさんあると思います。そのような時は、皆さんの力になってくれるご家族、そして先生、先輩、友達がいます。さらには、スクールカウンセラーさんや心のふれあい相談員の方がいます。一人で悩んだり、苦しんだりしないで相談してください。

【保護者の皆様へ】

お子様の心と体の変化に伴う言動にどうしたらいいのか悩み、戸惑うことが出てきましたら、お気軽にご相談ください。本校の教職員は親身なって相談に応じます。校長にも遠慮なくご相談ください。

自分で考え判断し、何事にも心をこめて素直に取り組み、努力を惜しまないたくましい人になるよう、全教職員一丸となって「親切に、丁寧に、最後まで」を合言葉に教育活動を進めていきます。コロナ禍、3年目になりますが、感染予防に努めながら、知恵と工夫で教育を前進させていきますので、本年度も保護者の皆様、地域の方々にご理解ご協力ご支援のほどお願い申し上げます。